

3月公演

義太夫節演奏会

傾城阿波の鳴門
けいせいあわなるど

順礼歌の段
じゅんれいうた

(前) 浄瑠璃 竹本孝之資
三味線 鶴澤 駒治

竹本孝矢新人奨励賞受賞記念演奏

(後) 浄瑠璃 竹本 孝矢
三味線 鶴澤 賀寿

新版歌祭文
しんばんうたざいもん

野崎村の段(前)
のざきむらだん

浄瑠璃 竹本佳之助
三味線 鶴澤三寿々

近頃河原の達引
ちかごろかわら たてひき

堀川猿廻しの段
ほりかわさるまわだん

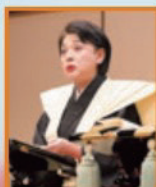
浄瑠璃 竹本 越孝
三味線 鶴澤津賀花
ツレ 鶴澤 弥々



鶴澤 弥々



鶴澤 津賀花



竹本 越孝



鶴澤 三寿々



竹本 佳之助



鶴澤 賀寿



竹本 孝矢



鶴澤 駒治



竹本 孝之資

なかの芸能小劇場

2026年

3/22日

開場◎13時00分
開演◎13時30分

料金◎4,000円/全席自由
会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方 3,000円
予約受付

2026年2月16日(月)10時30分より

お電話
または
メール

☎ 03-6264-3047

✉ am-giday@gidayu.or.jp

※未就学児の入場をご希望の方は当協会までお問合せください

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

主催:一般社団法人義太夫協会

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目3-12
秀和第二築地レジデンス706号室
TEL.03-6264-3047 FAX.03-6264-3048

●http://www.gidayu.or.jp/

●E-mail:am-giday@gidayu.or.jp

傾城阿波の鳴門

順礼歌の段

【解説】

明和五年（一七六八）大坂竹本座初演。近松半二、竹本三郎兵衛らの合作。近松門左衛門の「夕霧阿波鳴渡」をもとに、阿波の玉木家のお家騒動を絡ませた全十段の作品です。現在ではその中の八段目「十郎兵衛住家」のみ演じられています。そしてこの十郎兵衛住家の段の一部が「順礼歌の段」として人形芝居、素浄瑠璃で度々上演されています。

【これまでのあらすじ】

阿波玉木家の国家老がお家転覆を謀り、盗み出した家宝の刀。江戸家老の元家臣であった十郎兵衛とその妻お弓は、大坂で盗賊に身をやつしてその刀を探索していました。

【あらすじ】

お弓に「夫や仲間に詮議がかかり、あすの命も知れぬ為、早くそこを立ち退くよう」との状がとどき、二人は幼いおつるを残して立ち退き、すでに六年が経っています。ある日、幼い巡礼の子が二人の家の前を通りかかり、身の上を聞くと六年前に阿波に残してきた愛娘のおつるだと判明します。しかし今の身の上ゆえに母親と名乗れないお弓は、阿波へ戻って親の帰りを待つようにと諭します。立ち去る我が子を見送ったものの、ここで別れてはいつ再会できるか知れないと思ひ直したお弓は、おつるの後を追って行きます。

新版歌祭文

野崎村の段

【解説】

安永九年（一七八〇）大坂竹本座初演。近松半二作。実際にあったと言われる心中を扱った作品です。武士の子である久松をめぐるお家騒動を軸に、男女、親子の愛、主従の義理が絡み合い紡がれていきます。

【あらすじ】

お家を取り潰された久松は、野崎村の久作の養子となり、油屋へ奉公に出ます。年の暮れ、奉公先から帰された久松に、久作は妻の連れ子お光と祝言をあげさせようとしませんが、そこへ久松を追って油屋の娘お染が現れ、久松と夫婦になれぬなら死ぬと迫ります。話を久作に聞かれ、諭された二人は互いに思い切ると誓いますが、奥の間で全てを聞いていたお光は、お染と久松は死ぬ覚悟であろうと察して、自ら髪を切つて尼の姿で現れます。お染の母が現れ二人の仲を許し、久松は駕籠、お染と母は船に別れてそれぞれ油屋へと戻って行くのでした。

近頃河原の達引

堀川猿廻しの段

【解説】

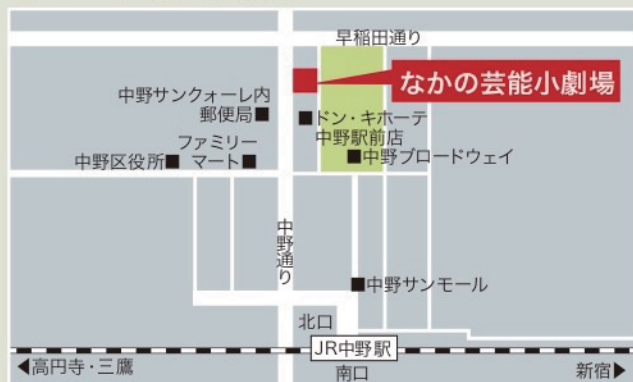
初演は天明三年（一七八三）と天明五年の説があり、作者も不詳。京の聖護院であった心中事件を軸に、四条河原での喧嘩、親孝行な猿廻しのエピソードなどが織り込まれた、上中下三巻の世話物。「そりや聞こえませぬ伝兵衛さん」というおしゅんのくどきが有名です。

【あらすじ】

井筒屋伝兵衛は遊女おしゅんと恋仲ですが、横淵という役人が横恋慕したために、四条河原で刃傷沙汰となり、伝兵衛は横淵を斬り殺してしまっています。

堀川のおしゅんの実家では、盲目の母が琴三味線を近隣の娘に教え、兄の与次郎が猿廻しの芸を見せ、細々と暮らしを立てていました。四条河原での喧嘩騒動の後、実家に戻されたおしゅんの身を案じて、母と兄は伝兵衛への退き状を書かせます。しかし、闇に紛れて兄が伝兵衛にその退き状を突きつけると、なんとそれはおしゅんの遺書でした。おしゅんと伝兵衛は死を覚悟し、母はその心情を汲み取り、兄・与次郎は猿廻しで門出を祝って二人を送り出すのでした。

なかの芸能小劇場



●ご予約いただいたお客様は、当日受付にて入場料をお支払いください。

〒164-0001 東京都中野区中野5-68-7 TEL. 03-5380-0931

中野区社会福祉会館「すまいる中野」2階

JR・東京メトロ東西線「中野駅」北口より徒歩5分

義太夫協会会員・寄付募集中！

お申し込みは▼

一般社団法人義太夫協会は、義太夫節の向上普及・発展を目的として活動しています。義太夫節を多くのお客様にお楽しみいただき、次世代へと繋げていく事業をご支援いただきたく、「ご寄付」「賛助・特別会員」を募っております。



企画・制作●一般社団法人 義太夫協会 デザイン●TRIAD

次回4月公演

義太夫節演奏会

開演◎13時30分 [開場◎13時]

2026年4月18日[土] なかの芸能小劇場

料金◎4,000円/会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方3,000円